



特定非営利活動法人

神戸日独協会会報

BERICHTE DER NPO JAPANISCH-DEUTSCHEN GESELLSCHAFT KOBE

Nr. 385

August 2023

NPO法人 神戸日独協会

〒651-0085 兵庫県神戸市中央区八幡通2-1-20 磯上公園内

神戸リガッタ・アンド・アスレティック倶楽部内

TEL/FAX 078-230-8150

郵便振替 01160-9-18199

E-mail: info@jdg-kobe.org URL <http://www.jdg-kobe.org/>

NPO JAPANISCH-DEUTSCHE GESELLSCHAFT KOBE

Bei Kobe Regatta & Athletic Club

In Isogami-Park Yahata-Dori 2-1-20

Chuo-ku Kobe, Japan 〒651-0085

神戸日独協会主催



オクトバーフェスト in 神戸2023

ビールジョッキを高々と、プロースト！
隣の人と腕を組んでシュンケルンしながら、ドイツのビアソングを！
ドイツヴルストを味わいながら、プロースト！



神戸日独協会は、好評をいただいていた恒例の行事「ビアフェスト」を昨年に引き続き、「オクトバーフェスト in 神戸2023」として開催します。厳しかった猛暑は9月も続くとのこと。冷たいビールとビアソングで残暑を乗り越えましょう。

ご家族と一緒に、親しい友とともにビールを飲みながら、ビアソングを楽しみながら、楽しい秋の一夜を過ごしましょう！お誘いあわせの上、ご参加をお待ちしています。

ドイツビアソング：アコーディオン演奏 平野 新祐さん、歌 岩島 佳子さん

日時：2023年9月30日(土)18:00~20:00

会場：ステーキ&ビアレストラン ロイン 三宮店 (神戸国際会館南前のビル地下1階)

神戸市中央区磯上通8-1-19 カーサグランデ神戸ビルB1、078-242-3611

チケット：5,500円(会員および同伴者 5,000円)(同伴小・中学生 2,500円)

☆当日はチケットがないと会場に入場出来ませんので、前もって必ずチケットをご購入ください。

定員：60名 定員になり次第締め切らせていただきます。

申込：チケットのお求めは、同封の振込用紙にご希望の枚数とお名前を明記の上、お振込下さい。

ご入金を確認させて頂いたチケットは、当日会場にてお渡し致します。事務局でもチケットの販売を致します。チケットの払い戻しはいたしませんので、ご了承ください。



Oktoberfest in Kobe 2023

Ein Prosit, ein Prosit der Gemütlichkeit !
Eins, zwei, drei, g'suffa !
Prost !



Ende September veranstaltet die Japanisch-Deutsche Gesellschaft Kobe wieder ein „Oktoberfest in Kobe“ mit Musik (auch zum Mitsingen!).

◇Akkordeonist Herr Shinsuke Hirano und Singerin Frau Yoshiko Iwashima.

◇Datum : 30. September 2023 (Sam.) 18:00 — 20:00

◇Ort: Bierrestaurant „Roin“ in Sannomiya, Kobe

Casa Grande Kobe Building B1 F (Südlich vom Kobe International House)
(Isogami-Dori 8-1-19, Kobe-Chuoku)

◇Kosten: 5500 Yen (Mitglieder und Begleitung 5000 Yen)

ドイツ文化サロン

「女性が支える国際交流」

コロナ禍等で中断していました「ドイツ文化サロン『女性が支える国際交流』」を再開します。

「ドイツ文化サロン」とは

「ドイツ文化サロン」は、ドイツ語圏に滞在体験のある女性の方を講師としてお招きして、ドイツでの日常家庭生活、家事、子供の教育、現地の方々とのお付き合い等々「ドイツでの日常生活」についての体験を語っていただきました。お話をテーマに、ドイツと日本との日常の生活文化の比較を参加者で話し合い、個人レベルでの日独交流への貢献を考えてみたいと、女性会員によって企画実施されてきたものです。

平日の午後の開催で、ケーキとお茶を楽しみながら和気あいあいとした雰囲気での会にしたいので「サロン」と名付けられました。

「ドイツ文化サロン」の最初のシリーズ企画として「女性が支える国際交流」を開催してきました。

夫に同行して海外での生活体験のある方をお招きしてその体験談を、あるいはドイツでの勤務や資格取得やキャリアを積むための苦労談を伺い、そこから国際交流において果たされる妻あるいは母としての家庭人の及び女性ならではの貢献を考えてきました。

このような体験談や苦労談は、将来的に海外赴任予定のある人にとって大きな予備知識となるだけでなく、国内においても家庭人として果たすことのできる国際交流を考える上で極めて有益なものとなり、ひいては市民による国際交流に大いに資しています。

第18回 『戦禍のウクライナから神戸へ避難して』

再開第1回目は、神戸リガッタアンドアスレティック倶楽部(KR&AC)と連携して、戦禍のウクライナから昨年4月に神戸市内に避難し、現在同倶楽部にてバレエ教室「ジャスト・ダンス Just Dance」を開催しているウクライナ出身のプロバレエダンサーのビクトリア・コスチュチェンコさんとパートナーの男性ダンサーのボグダン・チャバニユクさんをお招きします。報道では知り得ないウクライナの戦禍のこと、避難生活でのご苦勞のことなどをお話していただきます。バレエの妙技の一端もご披露いただけるとのことです。皆様のご来場をお待ちしています。

・講師：ビクトリア・コスチュチェンコ Kostiuchenko Viktoriia さん

1987年ウクライナ南部オデッサ出身、7歳からバレエを始め、以後 Dankevich Odessa choreography college (2006)、Slavonic university (Kyiv 2012)で学び、2022年よりオデッサのバレエ団 National academic theater opera and ballet で活動。昨年2月ロシアの軍事侵攻が始まると、娘2人の教育環境を確保するため出国を決意。ポーランドなどを經由して同年4月下旬日本にたどり着く。現在は娘2人と神戸市北区に在住。

パートナーの男性ダンサー ボグダン・チャバニユク Chabaniuk Bohdan さん

1988年ウクライナ南部オデッサ出身。同じくオデッサ、キエフでバレエを学び、2023年よりオデッサのバレエ団 National academic theater opera and ballet で活動。

・日時：2023年9月18日(月)14:00～16:00 (開場 13:45)

・会場：神戸リガッタアンドアスレティック倶楽部ホール(2階)

・会費：1500円 (ケーキと飲物代)

神戸日独協会会員及びKR&AC会員および家族1300円

当日受付にて支払ってください。

・申込：9月15日(金)までに事務室へメール・電話・ファックスでお申し込みください。

Tel/Fax 078-230-8150 E-Mail : info@jdg-kobe.org

10月からの新規会員サークル紹介

ドイツ歌声サロン

神戸日独協会はこれまでドイツ文化教室「ドイツ歌曲クラス」を開催してきましたが、神戸国際会館では防音の関係から同教室を開催することが出来ずに中断してきました。しかし「歌曲クラスの復活を!」、「ドイツの歌を歌う会を!」とのご要望が会員の皆様から多く寄せられてきました。新しい事務室兼教室ではこのような問題は解決されKR&AC内にはピアノが常備された部屋もありますので、先ずは10月から「会員サークル」として「ドイツ歌声サロン」を開催します。

この会は、協会主催「ビアフェスト」でお馴染みの岩島佳子さんを講師として、ドイツ歌曲・オペラの名曲、ドイツの流行歌や映画音楽(リリーマルレーン、会議は踊るなど)、ビアソングのみならずドイツの家庭や集会で広く歌われ、日本でも親しみ歌い継がれてきたドイツの愛唱歌をも採り上げていただきます。

講 師： 岩島 佳子さん

大阪芸術大学芸術学部音楽教育学科卒業。モーツアルテウム音楽院夏季セミナーに参加。声楽を宇仁 節、田口久仁子、藤原道従、故中村利男各氏に師事。現在スーパードライ梅田専属歌手。ロータリークラブソングリーダー。ホテルアゴラ大阪守口カルチャー教室講師。大阪グランハーモニーアイリス・芦屋アイリス代表。バイエルンカペレ大阪代表。

開催日時： 毎月第4土曜日13:30～15:00

第1回は10月28日です

開催場所： 神戸リガッタアンドアスレチック倶楽部教室及び神戸日独協会事務室兼教室

会 費： 2000円（講師謝礼と配布楽譜代）

参加条件： 一般公開ですので、神戸日独協会会員以外にも多くの方のご参加をお待ちしています。

申 込： 毎月第3金曜日までに事務室へメール・電話・ファックスでお申し込みください。

Tel/Fax 078-230-8150 E-Mail : info@jdg-kobe.org

会 員 の 広 場

このコーナーは、会報を通して会員相互の交流をしていただくための「広場」です。ご投稿をお待ちしています。今月は休載します。

(投稿規定：MSPゴシック12ポ、A4 1枚程度まで(多くの方に投稿していただくために、字数を厳守してください)、添付にて毎月第4月曜までに事務局へ)

ドイツ語談話室

第225回ドイツ語談話室

日 時： 2023年7月15日(土) 14:00-16:00

場 所： 神戸国際会館セミナーハウス 703号室

テーマ： 私は持続可能な開発目標(SDGs)に対して何が出来るか

今回のドイツ語談話室には、最近ドイツから日本に転居された若いご夫妻も参加され、それぞれ自己紹介をして頂いた。今回の司会は原田耕作氏が担当し、17の持続可能な開発目標はどれも大きな目標ではあるが、一人一人が小さな事であってもこれら目標に貢献できることを続ければ、成功につながると話した。司会者宅では、台所から出る生ごみをすべて細かく切り刻み、ベラ

ンダで乾燥させてから燃えるゴミに出している。こうすることでゴミは驚くほど軽くなり、神戸市のごみ焼却費も大幅に削減できる。

以下に参加者の皆さんの発言を一部紹介する。

—台所の生ごみはコンポストに入れ、3日ほど発酵させてバイオ堆肥にする。

—ドイツでは風力発電が多いが、日本ではまだほとんどない。

—CO2を2050年までにゼロにする目標を掲げているが、日本は到底無理であろう。

—環境にやさしくするため、プラスチックごみは再生に回している。

—世界では食料不足や悪質な食糧で死ぬ人も多い。このため食料生産を増やし不足している国に援助することが必要。先進国では、食べ過ぎで不健康になる人も多い。

—ソーラーパネルの生産は、圧倒的に中国が多い。日本もドイツも中国に頼っているのは良くない。

—ソーラーパネルとは別の原理で、太陽光エネルギーをより効率よく利用できる方法を開発しないとけない。

—日本には多くの中小河川があるので、小さな水力発電所を各地に作ることに適している。

—エネルギーはグローバルな見方で考え、各地のローカル事情に合った方法で実践しよう。

—エコバッグをいつも持ち歩き、プラスチックバッグを減らそう。

—江戸時代の日本の人口は1000万位で快適な生活を送っていた。現在の日本の人口はあまりにも多すぎる。もっと人口を減らして、人間らしい生活に戻るのが良い。

—多くのダムが、土砂の堆積で本来の目的を達成していない。これらの堆積土を取って元のダムの機能を取り戻し、取った堆積土は作物の育成に使う。ブルーベリーなどの栽培にもよいそうだ。

—家庭での電気を、原子力発電による電気から、クリーン電力によるものに切り替えよう。

今後のドイツ語談話室の予定

第227回 2023年9月16日(土) 14-16時 テーマ : スペイン

Protokoll der 225. Deutschen Gesprächsrunde

Zeit: Samstag, 15. Juli 2023, 14 bis 16 Uhr

Thema: SDGs-Was kann man tun?

Dieses Mal hat ein junges Paar, das vor kurzem von Deutschland nach Japan gezogen ist, an unserer Gesprächsrunde teilgenommen und sich vorgestellt.

Die Gesprächsleitung hatte Herr Kosaku Harada. Er vertrat die Ansicht, dass die 17 Ziele für nachhaltige Entwicklung allesamt sehr große Ziele sind, dass wir aber erfolgreich sein können, wenn jeder von uns fortlaufend selbst im Kleinen seinen Beitrag zu diesen Zielen leistet. Beim Wohnhaus des Gesprächsleiters z.B. werden alle Lebensmittelabfälle zerkleinert und auf dem Balkon getrocknet, bevor sie als brennbarer Abfall entsorgt werden. Auf diese Weise wird der Abfall erstaunlich leicht und die Kosten für die Verbrennung des Hausmülls werden drastisch reduziert.

Hier einige der Wortmeldungen zum Thema:

- Küchenabfälle werden in den Kompost gegeben und drei Tage lang fermentiert, um Biodünger herzustellen.
- In Deutschland findet man viele Windkraftwerke, aber in Japan gibt es erst wenige davon.
- Ein Ziel besagt, bis 2050 den CO₂-Ausstoß auf null zu reduzieren. Es sieht nicht so aus, als ob Japan dies gelingen könnte.
- Es ist notwendig für die Umwelt, alle Plastikabfälle zu recyceln.
- Viele Menschen auf der Welt sterben aufgrund von Nahrungsmittelknappheit, bzw. schlechten Lebensmitteln. Deshalb ist es notwendig, die Nahrungsmittelproduktion zu erhöhen und Ländern mit Nahrungsmittelknappheit zu helfen. Viele Menschen in den Industrieländern leben ungesund, weil sie zu viel essen.
- China ist bei weitem der größte Hersteller von Solaranlagen. Auch hier ist die Abhängigkeit von China sowohl für Japan als auch für Deutschland nicht sehr günstig.
- Wir müssen eine effizientere Art der Solarenergienutzung entwickeln, die auf anderen Prinzipien beruht als die derzeitigen Solarpanels.
- Japan verfügt über viele kleine und mittelgroße Flüsse, was den Bau von Kleinwasserkraftwerken in verschiedenen Teilen des Landes attraktiv macht.
- In Sachen Energie muss man global denken und den lokalen Gegebenheiten entsprechend konkrete Maßregeln treffen.
- Es ist notwendig, stets wiederverwendbare Eko-Tragtaschen zu verwenden und keine Plastikbeutel zu benutzen.
- In der Edo-Zeit wohnten in Japan nur ca. zehn Millionen Leute, was so auch recht war. Heute ist die Einwohnerzahl zu stark gestiegen. Es ist erstrebenswert, mit geringeren Einwohnerzahlen zu humaneren Lebensweisen zu finden.
- Viele Dämme erfüllen aufgrund von Sedimentablagerungen nicht mehr ihren ursprünglichen Zweck. Diese Sedimente können entnommen werden, um die ursprüngliche Funktion des Damms wieder herzustellen und die Ablagerungen für den Anbau von Pflanzen zu verwenden. Sie eignen sich z.B. für den Anbau von Blaubeeren und anderen Nutzpflanzen.
- Man sollte im eigenen Heim von Atomstrom zu sauberem Strom wechseln.

Nächste Treffen:

Samstag, 16. September 2023, 14 bis 16 Uhr, Thema: Spanien

Stammtisch mit Zoom

9月は休会させていただきます。

Stammtisch

9月は休会させていただきます。

Stammtisch mit Zoom と Stammtisch について

「Stammtisch」は神戸日独協会の伝統ある会員によるサークル活動でした。この伝統を絶やさないようにと「Stammtisch mit Zoom」がコロナ感染下に感染防止と外出自粛の中で催されてきました。しかしながら対面形式による集会・会合が一般的になりましたので、他方の「Stammtisch」と統合して、10月からの開催を目指して現在新たな「Stammtisch」を模索中です。

ドイツでの“Stammtisch”のように飲み物や茶菓を取りながら、気楽に会員同士のご歓談をお楽しみいただく会を目指しています。

毎回テーマを決めるか、ネイティブの方とどのように交流するか、会場は、飲食は、などなど今後の形式・運営方法についてのご意見をお寄せください。

9月の企画委員会開催のお知らせ

この会は協会と会員との交流のための会です。4月より「月例懇談会」を名称・内容を変更して新たに「企画委員会」として開催しています。是非とも参加し、協会の運営や企画などにご意見を下さい。

日 時： 2023年9月9日(土)16:30～18:00

9月の日時は本来の第2土曜です。

場 所： 神戸日独協会新事務室

話 題： 9月以降の事業予定について。

8月の委員会にてご提案の諸行事の具体化

ご出席いただける方は、事務室へ電話・メールにてご連絡ください。当日参加も可。

事務室移転情報

事務室の移転作業と整備作業は今月末にてほぼ完了しますので、この欄は終了させていただきます。

事務室からのお知らせ

会報8月号の発行遅延について

本号でお知らせすべき行事案内が発行日直前に内容変更となりましたので、急遽変更調整のために一週間遅らせていただきました。前号に続いての発行遅延となり申し訳ありませんでした。お詫び申し上げます。

会報印刷・発送ボランティア募集

会報の印刷と発送を手伝ってくださる方を募集しております。是非ともお手伝いをお願いします。次回の印刷と発送は9月28日(木)を予定しています。

お手伝いいただける方は事前に事務室へご連絡下さい(TEL 078-230-8150)。

- 印刷： 兵庫県国際交流協会作業室(神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5番1号
国際健康開発センター2階、県立美術館西隣)にて、10:30より1時間半程度
発送： 神戸日独協会にて、12:00～

これからの神戸日独協会の催し

日時	催し	会場	申込〆切 など
9月9日(土) 16:30~18:00	企画委員会	神戸日独協会事務室	当日参加可
9月16日(土) 14:00~16:00	ドイツ語談話室	神戸日独協会事務室	当日参加可
9月18日(月) 14:00~16:00	ドイツ文化サロン	神戸リガッタアンドアスレティック倶楽部ホール	9月15日(金)まで
9月30日(土) 18:00~20:00	オクトバーフェスト in 神戸 2023	ステーキ&ビアレストラン「ロイン」三宮店	定員になり次第 締め切り